

2022.11「第8回建築学部設計コンペティション」 近畿大学建築学部・賛八会 共催事業

令和4年度 学生支援事業「第8回建築学部設計コンペティション」の報告
担当 第2事業部会

応募資格 : 総合理工学研究科(大学院)、建築学部の在籍者
提出締切り : 令和4年12月28日(水)
表彰式日時 : 令和5年1月24日(火) 午後6時30分～
表彰式場所 : 近畿大学本校 アカデミックシアター・ラーニングcommons

この行事は、近畿大学建築学部と賛八会の共催事業で、建築学部の垣田博之准教授が担当事務局となり平成26年度から毎年一回開催しています。

毎年、建築学部生・院生から多くの作品が応募される中で、審査委員長 阿波野 昌幸教授（近畿大学建築学部学部長）のもと大学の先生方と賛八会の役員で厳正な設計審査を行い、優秀な作品の受賞者に表彰・記念品の授与を行っています。

また、受賞者には、毎年、お祝いとして「秋の集い」にご招待しています。

今回は、令和4年11月に「第8回建築学部設計コンペティション」を開催し、テーマは「竹箒の茶室」。建築や都市において視覚的に、地球温暖化対策として有効な緑地をメンテナンスする道具の一つの「竹箒」を素材に、柄と穂の竹の異なる素材の特性を考慮して、茶室を、実際に茶を点てる場でなく、対話のための最小限空間と考え、千利休のような自由な発想の設計を期待しました。

最優秀案は、1階ギャラリーに実際に製作し、一定期間設置することを前提とした、製作可能性や、設置時の安全性も考慮した設計を望んで作品を募集したところ14作品の提出がありました。

審査の結果、

- ・最優秀賞1作品「竹箒 アジサイ」
[受賞者]大学院1年生 谷 金（ヤ キン）
- ・特別賞(賛八会賞)1作品「あるく庵」
[受賞者]3年生池内豪生、川村智也
- ・優秀賞1作品「光と露地」
[受賞者]3年生植野和也、神元ゆかり、玉置健人、樋口歌乃
- ・佳作 4作品
- ・入選 4作品

が選出され、令和5年1月24日アカデミックシアター・ラーニングcommonsに於いて表彰・記念品授与式を行いました。